



ロボット・ネイティブな子供たち ／ 央京上海設立

代表取締役社長

井口宗久



皆様、あけましておめでとうございます。2020年が皆様にとって素晴らしい一年であるよう心からお祈りをしております。

さて、私は1980年生まれで今年2020年は不惑の年を迎えますが、幼少期は黒電話、ガチャガチャと回してチャンネルを変えるTVなどが未だ残っているようなアナログな環境で育ってきました。一方で2020年を生きる現代の子供達は小さなころからネット、スマホ、キャッシュレスなどを当たり前のように利用しており、まさに「ネオ・デジタルネイティブ世代」だなど日頃から感じております。

そして、最近ではなんと「ロボットプログラミング教室」という子供向けの教室が登場しています。私には10歳になる息子がいますが、ある日突如、「お父さん、ロボットプログラミング教室に通いたい」と言いだし、体験教室と一緒に行ったところ、とても楽しいと言うので月3回の講習に通い始めました。その教室ではLEGOマインドストームというモーターや、センサーが含まれる教育用のLEGOで車型ロボットなどを組立て、それを動

かすプログラミングの講習をしているのですが、ステアリング、カム、リンク機構、サーボモーター、減速機、タッチセンサーなどの要素技術の解説もしながら教えており、大変感心いたしました。息子も毎回非常に楽しみながら通っているようです。

私などは「ロボット」というと仕事柄、つい固く考えてしまいましたが、このように子供時代から楽しそうにロボットに触れる子供たちがますます増えていき、次には生まれた時からロボットに触れることが当たり前の「ロボット・ネイティブ」な世代が誕生することもそう遅くないのかもしれない。広義の「ロボット」は恐らく大人達が思っている以上に、子供にとってはワクワクする世界であり、当社のロボット取組みでも若い人や子供達がワクワクするような分野の一端が担えればと思っています。

さて、本号のトピックスとして前期決算及び今期計画の概要、そして19年9月に中央工機様と一緒に設立したジョイントベンチャー「央京上海」についてお伝えいたします。

前期2019年9月期決算と今期計画

- ・売上：56億23百万（8.4%増）
- ・営業利益：1億5百万（12.4%減）
- ・経常利益：1億29百万（11.2%減）

売上は上期までは未だお客様の生産が好調であったこと、設備系商材（工作機、ロボット、環境設備など）の受注が多数あったため増収となりましたが、利益については増員や本社建替えの付随費用、積極的な展示会出展などで販管費が増加したため減少となりました。


今期2020年9月期については大変厳しい事業環境であることから、売上は約10%減の約50億、利益以下も残念ながら減益の計画となっております。

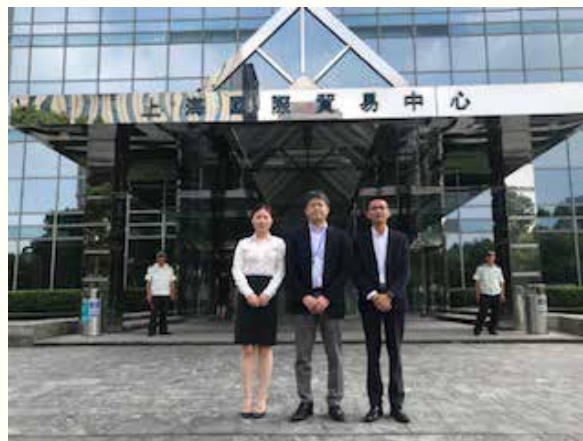
景気の見通しについては春ごろに回復してくるという見方もあり、私もそう期待はしていますが、一方で、不況の大きな原因の一つである米中の覇権争いや貿易摩擦はまだ収束せず、不況がかなり長引く可能性も十分にあると思います。その

ことについて会社全体できちんと強い危機意識を持つと同時に、当社がこの数年間進めてきたチャレンジ「ロボット推進室設置」「名阪営業所設立」「中国事業」を着実に進め、成果を生み出す年にしなければと考えております。

央京（上海）の設立について

2019年9月に大手機械工具商社の中央工機様と一緒に「央京（上海）国際貿易有限公司」を設立いたしました。中央工機様は愛知県に本拠地を置き、大手自動車部品メーカーと太い取引、太い人脈をお待ちで、一方で京二は2000年代初頭から中国でのビジネスを開始するなど中国においては経験豊富になります。そこで両社の長所を活かして協力しあえば、世界最大の自動車需要国で日系大手自動車部品メーカーを大きく開拓できるのではと考え、このようなJVを設立いたしました。JVの資本のマジョリティーも、活動の主体も中央工機様になりますが、京二側でも人材採用や育成、現地メーカーの紹介などの役割を担っておりますので、このJVが必ず成功するように全力で取り組んで参ります。

 **央京（上海）国際貿易有限公司**
YANGJING (SHANGHAI) INT'L CO.,LTD.



住所：
上海市長寧区延安西路2201号
上海国際貿易中心406号室
連絡先：
021-6271-3230